

みんなが輝く 都市と自然が織りなす・千葉市

令和8年度 市長と語ろう会(第2次実施計画)



千葉開府900年

千の葉に 時を刻んで 900年



人口増加数 県内No.1 (令和7年国勢調査速報値) / 人口 998,120人 (令和8年5月1日現在の推計人口)

国勢調査の結果

東京都、沖縄県を除く45道府県で人口が減少、千葉県では25,968人減少

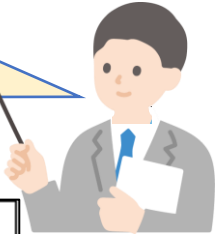
その中で、千葉市（20,019人）、流山市（15,281人）、柏市（8,905人）などが増加し、**千葉市が最も増加**

人口増加数は、全国で**7位**、政令市で**5位**

転入超過数（上位都市の年代別内訳）

※住民基本台帳人口移動報告 令和7年結果

すべての世代で“転入超過”



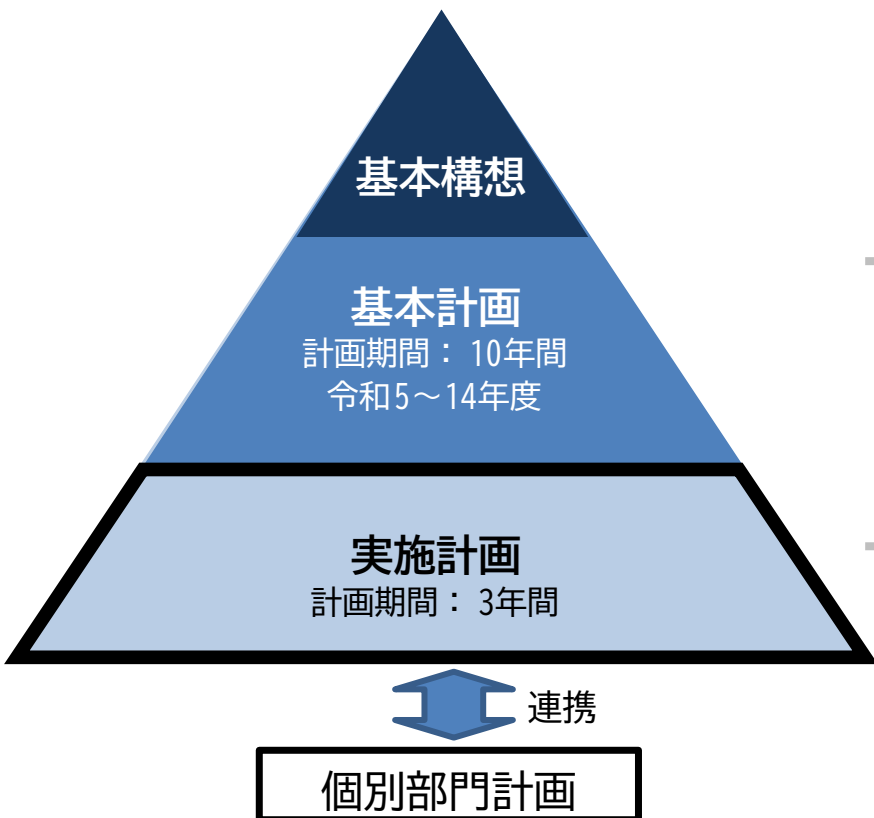
順位 (R6)	都市	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
1 (1)	東京23区	39,197	-7,552	6,951	75,667	-8,403	-5,939	-7,122	-14,405
2 (4)	横浜市	11,298	-710	1,576	10,403	1,123	322	-482	-933
3 (3)	札幌市	10,835	361	2,053	2,576	614	1,013	855	3,363
4 (2)	大阪市	9,841	-3,376	1,497	16,615	-3,806	-768	-339	18
5 (5)	福岡市	8,175	-182	2,286	5,243	-41	219	39	611
6 (8)	川崎市	7,889	-2,287	1,198	12,603	-1,236	-931	-777	-681
7 (7)	さいたま市	7,835	622	560	4,445	1,884	441	-370	253
8 (6)	千葉市	6,031	229	829	2,390	1,164	388	345	686
9 (9)	名古屋市	5,489	-1,440	-221	7,199	-589	-165	-80	784

0～9歳は政令市3位、30～39歳は全国2位

総合計画と第2次実施計画

- 市の総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画の3層で構成
- **第2次実施計画**は、中長期的なまちづくりの方向性を示した千葉市基本計画に基づき、今後3年間に重点的・優先的に取り組む、**具体的な事業を提示**

【千葉市総合計画の計画体系】



基本構想

市政運営の指針として、恒久的な都市づくりの基本理念・基本目標、望ましい都市の姿を示す

【基本理念】人間尊重・市民生活優先

【基本目標】人とまち いきいきと幸せに輝く都市

基本計画

基本構想を実現するため、まちづくりの方向性を示す基本方針や今後の施策展開を示す

【計画期間】令和5年～14年度（10年間）

実施計画

基本計画に基づく具体的な事業を提示

【第1次実施計画】令和5年～7年度（3年間）

【第2次実施計画】令和8年～10年度（3年間）

まちづくりの総合8分野

千葉市基本計画の実施計画では、189事業を8つの分野に整理しています。

新規 令和8年～10年度に新たに事業を開始する

拡充 令和8年～10年度に施設、組織、体制などを広げて、内容や機能をより豊かで充実した状態にする



健康・福祉

みんながいきいきと、健やかに安心して暮らせるまちを実現します



子ども・教育

夢と思いやりの心を持ち、未来を拓く子どもたちが育つまちを実現します



環境・自然

気候変動に対応し、豊かな自然と共生する持続可能なまちを実現します



安全・安心

災害などさまざまなリスクに対応し、安全・安心に暮らせるまちを実現します



地域社会

多様性を力に、みんなでまちづくりを進める地域社会を実現します



文化芸術・スポーツ

市民の文化芸術・スポーツ活動が広がる、創造性豊かなまちを実現します



都市・交通

市民の快適な暮らしと活発な交流を支える、魅力と愛着が感じられる都市を実現します



地域経済

地域経済を支える産業や人材が育ち、新たな価値が生まれるまちを実現します

まちづくりの総合8分野

1 健康・福祉

2 子ども・教育

3 環境・自然

4 安全・安心

5 地域社会

6 文化芸術・スポーツ

7 都市・交通

8 地域経済

健やかに暮らせる社会を創る

～少子高齢化が全国的に進行している中において、誰もが健康で自分らしく安心して暮らし、活躍できる環境を整備する～

◆千葉市立幕張海浜病院の整備

令和8年10月開院予定

将来にわたって市民に安心で質の高い医療を提供するため、海浜病院に代わる新病院を整備

[病床数] 現 293床 → 新 349床

[特色] **超高齢社会に求められる医療需要への対応**

- ・ **がん診療体制の強化**…呼吸器外科（新設）や泌尿器科で、肺がん・前立腺がんに対する集学的治療を開始
- ・ 整形外科、脳神経外科など外科系診療科の強化

現・海浜病院での強みの深化…小児周産期医療、救急・災害医療体制の充実強化



外観イメージ（花見川通り側）



健やかに暮らせる社会を創る

～少子高齢化が全国的に進行している中において、誰もが健康で自分らしく安心して暮らし、活躍できる環境を整備する～

◆おたふくかぜ予防接種費用の助成 **新規**

予防接種費用の一部助成を実施

- 対象者：① 1歳児
② 小学校就学前年度の児童
- 助成回数：2回（上記①、②で各1回）
- 助成額：（1回当たり）2,000円

◆RSウイルス母子免疫ワクチン予防接種 **新規**

定期接種化に伴い、妊婦を対象に予防接種を実施

（妊婦に接種することで乳児の疾病を予防）

- 対象者：妊娠28週から37週未満の妊婦
- 接種回数：1回（妊娠ごと）
- 負担額：自己負担なし

◆プレコンセプション健診費用助成

将来の健康や妊娠・出産に備えるため、夫婦（事実婚を含む）で自身の健康状態を把握するための健診を受けた方に対して、健診費用の一部を助成

- 対象者：①～③のすべてを満たす方
 - ① 夫婦の双方またはいずれか一方が千葉市内に住民登録がある
 - ② 妻の年齢が40歳未満の夫婦である
 - ③ 法律上の婚姻をしている、または事実婚関係にある夫婦である
- 助成回数：1回
- 助成額：保険適用外のプレコンセプション健診に要した費用の1/2（夫婦合計の上限額3万円）

高齢者がいきいきと活躍できる社会を創る

～高齢者が住み慣れた地域で長く安心して生活できるため、介護予防や支え合いの環境づくりを推進する～

◆高齢者等ごみ出し支援の充実強化 新規

ごみ出しが困難な高齢者等に対する支援を実施

- 時間などの制約を受けない専用ストッカーを設置し、支援団体によるごみ出し支援を強化
- 事業系ごみの収集業者による有料戸別収集

⇒モデル実施



ごみストッカー



有料戸別収集

※この画像は生成AIを用いて作成しています

◆地域介護予防活動支援の強化 拡充

市民の身近な地域で介護予防をひろげるため、自治会館などへ専門職を派遣し、ストレッチ体操などの介護予防活動を支援

- 対象 ①町内サークル、②市内の交流の場等



さつきが丘いきいきセンター ボディケアスクール

高齢者がいきいきと活躍できる社会を創る

～高齢者が住み慣れた地域で長く安心して生活できるため、介護予防や支え合いの環境づくりを推進する～

◆ 带状疱疹ワクチン任意予防接種費用助成 **新規**

带状疱疹の発症や重症化を予防するため、65歳からの定期接種に加え、50歳以上の方を対象とした任意予防接種費用の一部助成を実施

- 対象者：50歳以上の方
- 助成額：生ワクチン 2,000円（1回限り）
不活化ワクチン 5,000円／回（2回まで）

○定期接種と任意接種助成の対象者

区分	対象者
定期接種	<ul style="list-style-type: none"> ・年度内に65歳になる方 ・年度内に70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる方（R11年度までの経過措置） ・60歳から64歳で免疫機能に一定の障害を有する方
任意接種助成	上記以外の、50歳以上の方 新規

◆ 認知症の人の社会参加の促進 **新規**

認知症の人やその家族が外出する際の不安を軽減し、安心して社会参加や外出ができるようにするため、外出先の事故により法律上の損害賠償責任が生じた場合に補償する仕組みを新たに創設

- 賠償責任補償額：1億円
- 保険料自己負担額：なし
- 対象者：認知症の診断を受けた方で、在宅で生活を送っている方
※「どこシル伝言板」への加入が必要



警察と連携した地域での見守り声掛け・どこシル伝言板読取り訓練

障害のある人もない人も、自分らしく生活できる共生社会を創る

～ライフステージを通じた切れ目のない支援を受け、地域で安心して暮らすことができる環境を整備する～

◆新東部児童相談所及び発達に係る相談支援機関等の整備

令和11年度供用開始予定

気づきの段階からの相談：子どもの発達に関する不安に関し気軽に相談できる窓口が重要

きめ細やかな一貫した支援：ライフステージを通じた切れ目のない支援と、きめ細やかな情報共有による一貫した支援

未広3丁目複合施設

発達に係る相談支援機関を集約(連携強化)

区分	未就学児	小学生	中学生	高校～学生・ 社会人
年齢	0歳～6歳	7歳～12歳	13歳～15歳	16歳～
困りごとはあるが、障害の認識や受容のない方の相談窓口(診断前)	こども発達相談室	養護教育センター (年長児から小中学生)		
障害の認識や受容のある方の相談窓口(診断済)				

連携



子育てひろば(仮称)
子育てや育児に関する不安や悩みを気軽に話せる場



連携

東部児童相談所
子どもについてのあらゆる相談(養護、性格行動、非行、障害等)

連携



子どもや家庭の専門的な相談支援

不登校児童生徒支援と特別支援教育の充実

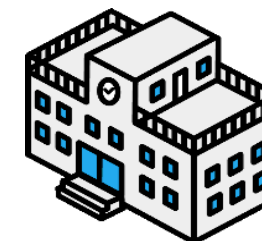
不登校対策 ～誰一人取り残さない千葉市モデル～

学校等

登校場所	教室	保健室 教室(放課後)	ステップルーム (教室以外の別室)	グループ活動 (教育センター内)	ライトポート (各区に1校)
支援員			ステップルームティーチャー 拡充	グループ活動指導員	ライトポート指導員 拡充
相談支援	スクールカウンセラー派遣				
	スクールソーシャルワーカー派遣 拡充				
	教育センターでの電話相談・来所相談				
	家庭訪問相談				
フリースクール 利用支援	保護者交流会				
	フリースクール委託事業、運営補助事業、活動費・通所費等助成事業				
	利用料助成制度創設 新規				

令和12年開校予定

学びの多様化学校



特別な教育課程の編成

年間総授業時数の低減
登校時間の変更 など

特別支援教育(養護教育センター)

- ・理学療法士の新規配置 **新規**
- ・心理判定員の配置拡充 **拡充**
- ・特別教育支援指導員の派遣拡充 **拡充**

福祉・医療との連携

- ・養護教育センター医療相談
- ・教育センター医療相談
- ・青少年サポートセンターサポート事業

地域との連携

- ・地域人材活用
- ・放課後こども教室

まちづくりの総合8分野

1 健康・福祉

2 子ども・教育

3 環境・自然

4 安全・安心

5 地域社会

6 文化芸術・スポーツ

7 都市・交通

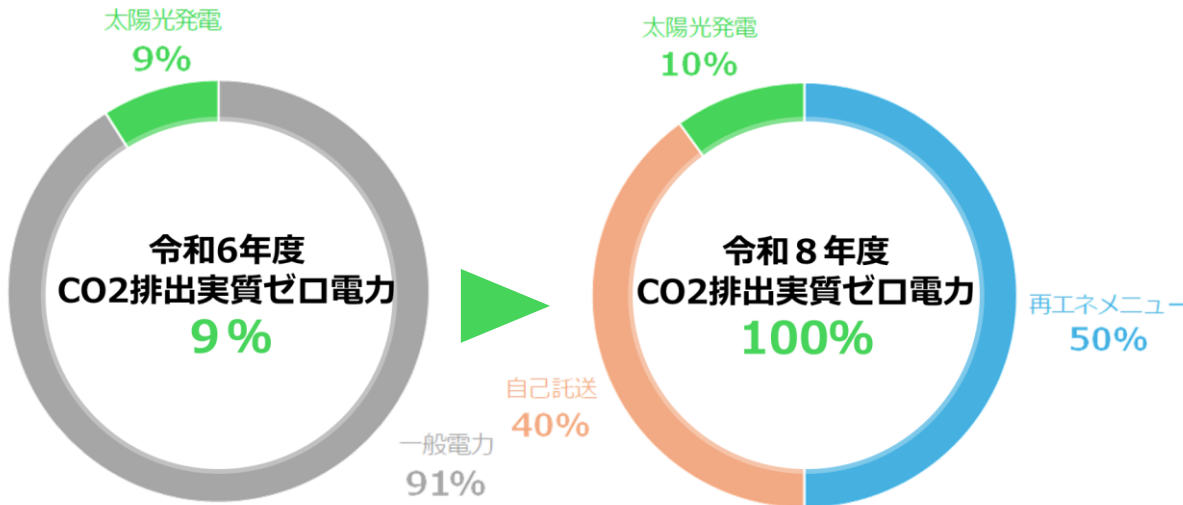
8 地域経済

脱炭素化などの地球環境保全を進め、持続可能な社会を創る

～令和8年度から基本的にすべての市有施設の電力消費に伴うCO2排出実質ゼロを実現～

◆脱炭素先行地域事業

- 市有施設の脱炭素化を推進するため、令和8年4月から AEMS（エリア・エネルギー・マネジメントシステム）の運用を開始し、清掃工場で発電された余剰電力を市有施設へ供給する自己託送や、再エネ電力メニューへの切替えを実施
- 下水道施設・動物公園などにも太陽光発電設備を設置



市有施設の使用電力内訳

取組効果

- 年間CO2排出量約61,000トン削減見込み（一般家庭約24,000世帯の年間CO2排出量に相当）
- 年間電力コスト約5億円削減見込み



AEMS（エリアエネルギー・マネジメントシステム）見える化画面

脱炭素化などの地球環境保全を進め、持続可能な社会を創る

～地球規模の気候変動に伴う様々な影響・リスクに対し、持続可能な仕組みづくりを行う～

◆家庭系プラスチック資源の分別収集・再資源化

新規 令和9年度予定

- プラスチック資源の分別収集を開始
(ごみステーションで週1回収集予定)

対象となるプラスチック資源

<p>ボトル類 洗剤、スプレー、調味料</p>	<p>カップ・パック類 卵パック、カップ麺</p>	<p>トレイ類 刺身・肉類のトレイ</p>	<p>硬いプラスチック製品類 バケツ・くし・歯ブラシなど</p>
<p>袋・ラベル類 クリーニング袋 レシ袋、ラベル</p>	<p>発泡スチロール・緩衝材・ネット類 発泡スチロール 気泡緩衝材、果物ネット</p>	<p>キャップ類 ボトルキャップ、 薬類やコーヒーのふた</p>	<p>その他 プラスチック製食器、おもちゃ、日用品</p>

対象になるのは100%プラスチック素材のものです！

◆リチウムイオン電池など充電電池の回収

拡充

市役所、区役所、市民センター、環境事業所等に設置

小型充電式電池回収拠点 拡充

- 拠点回収 12か所 ⇒ 31か所
(リチウムイオン電池・モバイルバッテリー等)

小型家電回収拠点 拡充

- 拠点回収 29か所 ⇒ 31か所
(スマートフォン、ノートパソコン、ハンディファン等)



小型充電式電池
回収ボックス



使用済小型家電の
回収ボックス

取組効果

温室効果ガス：年間CO2排出量
約20,000トン削減

緑と水辺を身近に感じ、愛着を持てる環境を創る

～都市公園の魅力をより向上させるとともに、市民の憩いの場として親しめる環境を創るため、民間活力を導入した公園等の整備を推進～

◆千葉公園の再整備 拡充

魅力向上と周辺地域の活性化を図るため、官民連携で再整備等を推進



芝庭



YohaSの寺子屋



パンプトラック



イベント「YohaS」



緑と水辺を身近に感じ、愛着の持てる環境を創る

～都市公園の魅力をより向上させるとともに、市民の憩いの場として親しめる環境を創るため、民間活力を導入した公園等の整備を推進～

◆動物公園リスタート構想の推進

動物科学館リニューアルオープン **令和7年3月オープン**

絶滅危惧種、熱帯雨林の歴史と現状を通じて地球環境問題を考えるきっかけとなる学習展示施設としてリニューアル

今後の整備 **拡充**

- 令和7年12月「千葉市動物公園アドバンスプラン」を策定
- 『「動物の暮らしを魅せる」展示空間の創出』を今後の整備方針とした湿原ゾーンや森林ゾーンの整備を計画



エントランスホール



バードホール



林床の世界



オグロマーモセット



カムリバト



湿地ゾーンの整備
(ハシビロコウ展示メインビュー)



森林ゾーンの整備
(ゴリラ屋外展示メインビュー)



ハシビロコウ

緑と水辺を身近に感じ、愛着の持てる環境を創る

～都市公園の魅力をより向上させるとともに、市民の憩いの場として親しめる環境を創るため、民間活力を導入した公園等の整備を推進～



まちづくりの総合8分野

1 健康・福祉

2 子ども・教育

3 環境・自然

4 安全・安心

5 地域社会

6 文化芸術・スポーツ

7 都市・交通

8 地域経済

持続可能で魅力あるまちづくりを進める

～官民連携で魅力あるまちづくりを進め、幕張新都心の更なる活性化を目指す～

◆幕張新都心まちづくり連携促進 **拡充**

幕張新都心で活動する多様な関係者が連携・協働してまちづくりを進めるため、パブリックスペースを活用するなど民間主体のエリアマネジメント活動を支援



スイス・クリスマスマーケットinマクハリ

◆幕張海浜公園活性化施設整備 (R10春頃供用開始予定)

Bブロック「にぎわいの広場及びその周辺地域」において民間活力導入による再整備を行い、同公園の魅力を上

【コンセプト】ひとも緑も健やかに。～ウェルネスライフの幕開け～ 主な3つの整備内容

1	広場を中心とした3つのエリア	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベントやマルシェを開催し、ウェルネスライフを体現する「アクティブエリア」 ・ BBQ や野外活動をして、緑の中で交流をはぐむ「コミュニティエリア」 ・ ステージイベントを呼び込むハレの広場「ステージエリア」
2	広場に開かれた建物	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツテナントを誘致し、スポーツをテーマに来訪を促す「Park WEST」 ・ カフェや多目的フィットネス
3	周辺と公園全体をつなぐ園路	<ul style="list-style-type: none"> ・ 円形広場に沿った公園全体を繋ぐ「リングパス」 ・ 明るく快適な緑陰で安心して園内の通行を可能とする「コモレビフォレスト」



全景パース

持続可能で魅力あるまちづくりを進める

～官民連携で魅力あるまちづくりを進め、幕張新都心の更なる活性化を目指す～

◆千葉マリスタジアムの再構築 **新規**

幕張メッセ駐車場に、幕張新都心の新たなまちづくりの拠点として再構築（令和16年頃開業予定）



敷地面積	約11,000㎡
建設面積	検討中
延床面積	検討中
階数	検討中
客席数	約33,000席



「ベース機能」と「拡張機能」により365日楽しめるスタジアムを実現

◆アルティーマリ千葉新アリーナ整備 **新規**

県立幕張海浜公園内におけるアルティーマリ千葉のホームアリーナ整備を支援（R12年頃開業予定）

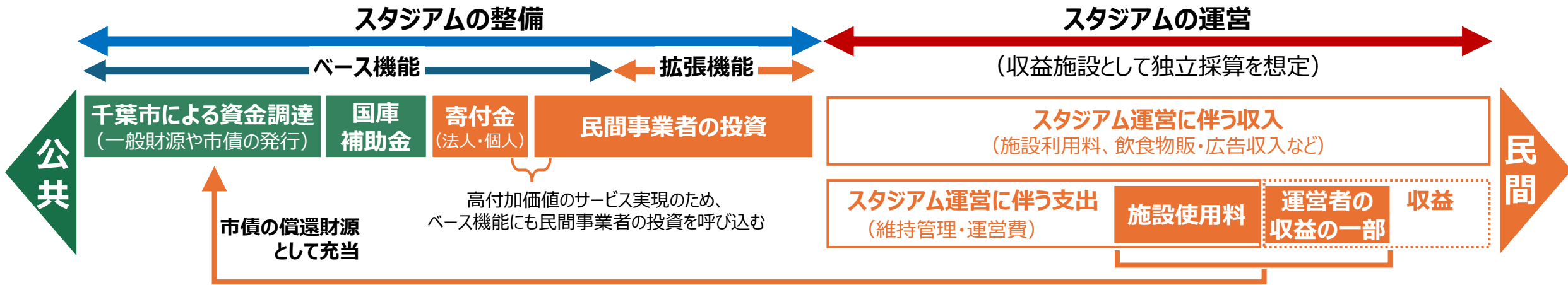


敷地面積	約50,000㎡
建設面積	約20,000㎡
延床面積	約54,000㎡
階数	地上6階建て予定
客席数	約20,000席

持続可能で魅力あるまちづくりを進める

～本市の負担額抑制にも配慮しながら、事業推進を図る～

◆千葉マリスタジアムの考え方 官民連携プロジェクトとして、市民球場相当部分は市が負担、それを超える部分は民間が賄う



◆アルティアリー千葉新アリーナの考え方

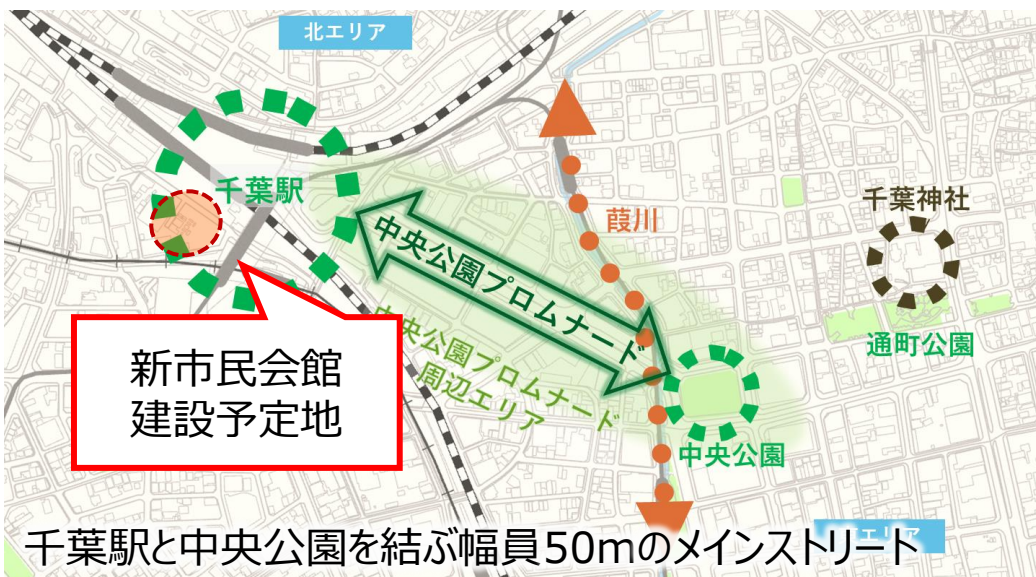
供用開始時期	<ul style="list-style-type: none"> 令和12年9月 (目標)
建設費・運営権	<ul style="list-style-type: none"> 民間事業者による建設後、負担付寄付によって公共施設とする 建設した民間事業者に対し、運営権を70年間設定する
費用負担	<ul style="list-style-type: none"> 維持管理運営費 (修繕・更新費含む) のすべてを民間事業者が負担 事業終了時の施設の解体等に係る費用も含めて、市の負担はゼロ ※基盤整備は、市が一部負担することを予定
事業期間	<ul style="list-style-type: none"> 70年 (民間事業者が責任を持って施設を管理/運営する方針)

持続可能で魅力あるまちづくりを進める

～「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を形成することにより、交流・滞在を促し、まちなかに賑わいを生み出す～

◆千葉駅周辺の活性化（中央公園プロムナード再編） 拡充

「車中心」から「ひと中心」のまちづくりへの転換に向け、広くまちづくりに関わる方々とともに「交流が生まれる場所」への再編を検討



公園のように過ごす みんなのプロムナード

歩くだけじゃもったいない。過ごすことで見える、千葉の新しい風景



◆市民会館再整備 拡充

多彩な文化芸術に触れる機会を提供するため、千葉駅前に市の文化の拠点となる市民会館を再整備



都市の力と底上げするネットワークを整備する

千葉開府 900年
千の葉に 時を刻んで 900年

～公共交通や道路などのネットワークの充実・強化を進め、人とモノの活発な交流を支える～

「ミッシングリンクを解消する幹線道路の整備」と
「既存道路の質を向上させるリノベーション」による
道路ネットワークの整備

至 東京都心
羽田空港
で30分圏内!
湾岸習志野I.C

(仮称)検見川・真砂スマートIC整備



ICイメージ

(仮称)検見川・真砂スマートIC整備

東京方面とのアクセス向上

国道357号

「検見川立体」の事業促進

国道357号の渋滞対策

赤色…千葉市事業

紫色…国直轄事業

「新湾岸道路」の早期具体化

国道357号湾岸千葉地区改良 (蘇我地区)

市役所前に続き6車線化整備

至 成田空港

で20分!

東寺山町山王町線
(若松町地区)

現道拡幅整備により
大型車両の通行規制解除予定

東関東自動車道

至 成田空港

出典)「未来をつなぐ新湾岸道路プロジェクト 創刊号」を加工して作成



都市の力と底上げするネットワークを整備する

～持続可能なバスネットワークの実現に向けた取組みを進めるとともに、地域の移動手段の確保に取り組む～

◆生活交通バス路線維持・再編

- 生活交通として必要なバス路線を維持するため、バス事業者に対し、運行に係る経費の一部を助成
- バス路線の見直し
- バス路線の維持確保施策検討や運行便数利用者数調査



バス事業者と協議・調整を図りながら
持続的なバス路線ネットワークの形成につなげる

◆コミュニティバスの運行 若葉区

- 泉地域コミュニティバス、大宮台コミュニティバスの利用促進を図り、収支改善を図る
- コミュニティバス収支改善のための利用状況調査

◆運転手不足対策

- バスやタクシー運転手の2種免許取得支援
- 新たな運転手確保支援（転職支援、労務管理システム導入支援など）

◆新たな地域公共交通導入に向けた取組み 緑区

地域主体によるデマンド型交通の本格運行や施策検討のための社会実験を実施



高津戸乗合タクシー

◆グリーンスローモビリティ（グリスロ） 若葉区 美浜区

スポット的に公共交通へのアクセスが困難な地域において、地域の方々とともに地域の移動ニーズにきめ細かく対応



グリスロ

暮らしを支える基盤を創る

～点検手法の構築などを含め、インフラの安全・安心な維持管理を確実にを行うため、これまでに以下の取組みを実施～

◆浸水対策

大雨時に床上浸水などのリスクが高く、被害発生時に社会的影響が大きい4地区で雨水貯留槽の整備事業を実施

(うち3地区はすでに供用開始)



◀【課題】
浸水した蘇我駅東口



【対策】雨水貯留槽の整備

◆老朽化対策

年数の経過した管路のテレビカメラやドローンでの調査などを実施し、必要な修繕および改築を実施



◀【課題】
老朽化した下水道管



【対策】
既設管の内面に樹脂等で新たに築造した下水道管

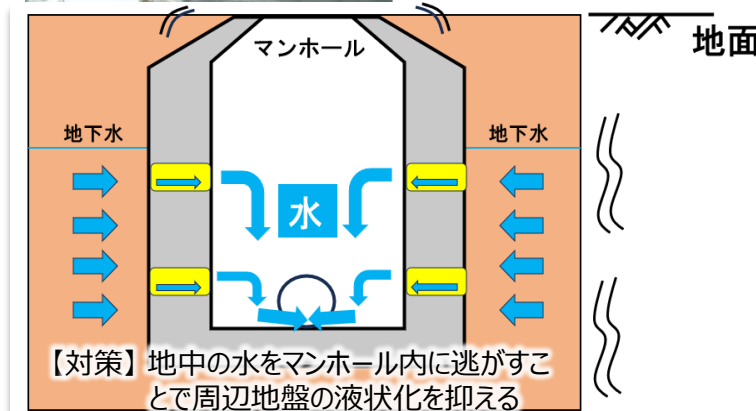
◆耐震化対策

緊急輸送道路等に埋設された下水道管や、マンホールの耐震化を実施

(令和7年度：897kmのうち83%完了)



◀【課題】
地震で浮いたマンホール



【対策】
地中の水をマンホール内に逃がすことで周辺地盤の液状化を抑える

暮らしを支える基盤を創る

～点検手法の構築などを含め、インフラの安全・安心な維持管理を確実にを行うため、これまでに以下の取組みを実施～

◆下水道管の特別重点調査

埼玉県八潮市の道路陥没事故を受け、対象管路の調査を実施
 一部の管路で腐食やクラックなどが見受けられたが、管の構造としては問題なし

不具合箇所は、令和8年度から順次改築工事に着手



特別重点調査の様子

◆新しい技術を用いた取組み

ドローン・浮流式カメラ等を用いて、水位が高く、人が入れない管路の点検・調査を実施

持続可能な運営に向けて

経営面での取組み

- 下水処理の過程で汚泥を焼却していたが、汚泥の燃料化技術の導入により、汚泥処分費を削減
- 管路の包括的民間委託の対象範囲拡大により、維持管理費を削減

これらによる資金不足縮減額 ⇒約1億円 (令和8年～9年)



上記取組みを行ったうえで、下水道の適切な維持管理と計画的な改築などを着実に進めていくため、さらに不足する資金を補う必要があることから、令和8年4月に使用料を平均13.6%改定

環境面での取組み

下水処理場内での汚泥の燃料化や太陽光発電を行うことで、下水処理の際に発生する温室効果ガスの抑制を図る

安全な下水道を維持するための取組み

ドローンを用いた雨水貯留管の点検を実施しています



ドローンでも下水道管の中を点検しているんだね！



下水道キャラクター
カワウソ一家

持続可能で魅力あるまちづくりを進める

～歴史、文化、自然などに触れてもらい、地域の魅力を再発見し、郷土への愛着と誇りを育む機会を提供する～

◆加曽利貝塚の魅力向上 新規

縄文文化の研究とその成果を市民などに発信する拠点となる博物館を整備（令和12年度新博物館開館予定）

加曽利貝塚とは？

直径130mでドーナツ形をした縄文時代中期の北貝塚と、長径170mで馬のひづめの形をした縄文時代後期の南貝塚が連結し、8字形をした日本最大級の貝塚。重要性が再認識され、平成29年10月に加曽利貝塚は「国宝」に相当する「特別史跡」に指定された

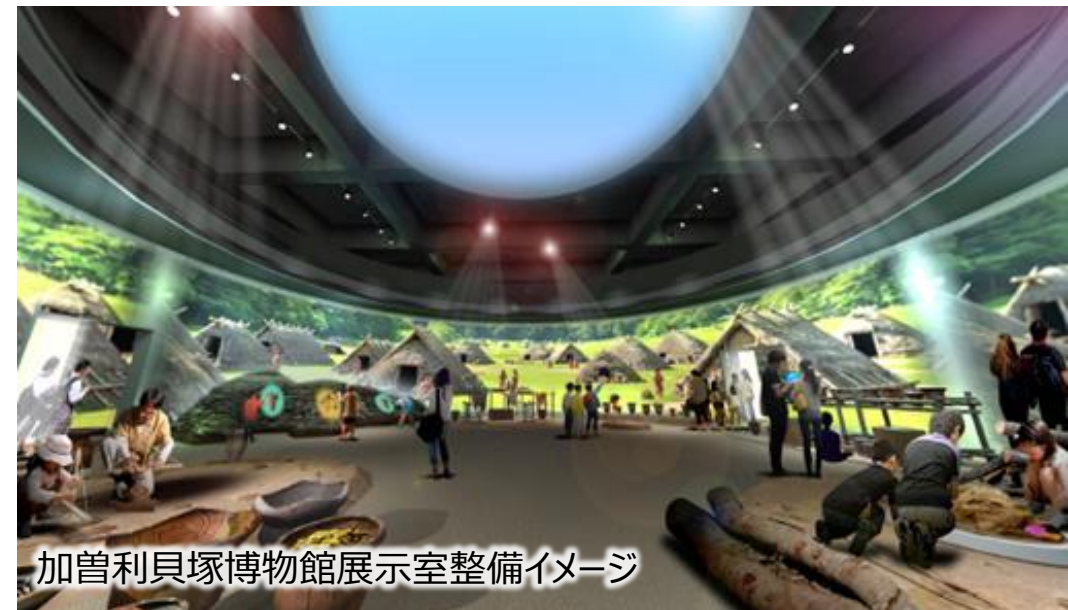
新しい博物館の目的

- ・ 縄文時代の調査・研究拠点として、学術的な研究成果を広く世界に発信
- ・ 「見るだけ」の展示ではなく、縄文人になりきり縄文の世界を楽しむ没入体験や、土器などの展示品に直接触れるなど、五感を用いて、縄文文化を楽しく学ぶことができるよう整備

※史跡内を縄文時代の景観に復元するために、新しい博物館は坂月川の反対側に建設



加曽利貝塚PR大使
かそりーぬ



加曽利貝塚博物館展示室整備イメージ

持続可能で魅力あるまちづくりを進める



～千葉開府900年の本年度は、本市の歴史、文化、自然などに触れてもらい、地域の魅力を再発見し、郷土への愛着と誇りを育む機会を提供する～

◆千葉開府900年記念事業 拡充

千葉開府900年とは？

千葉のまちが開かれて900年の歴史的節目を迎える喜びを皆で分かち合うとともに、千葉開府1000年をも見据えつつ、次代を担う若い世代が千葉市に誇りを持ち、より豊かな未来につなげるためにさまざまな取り組みを展開します

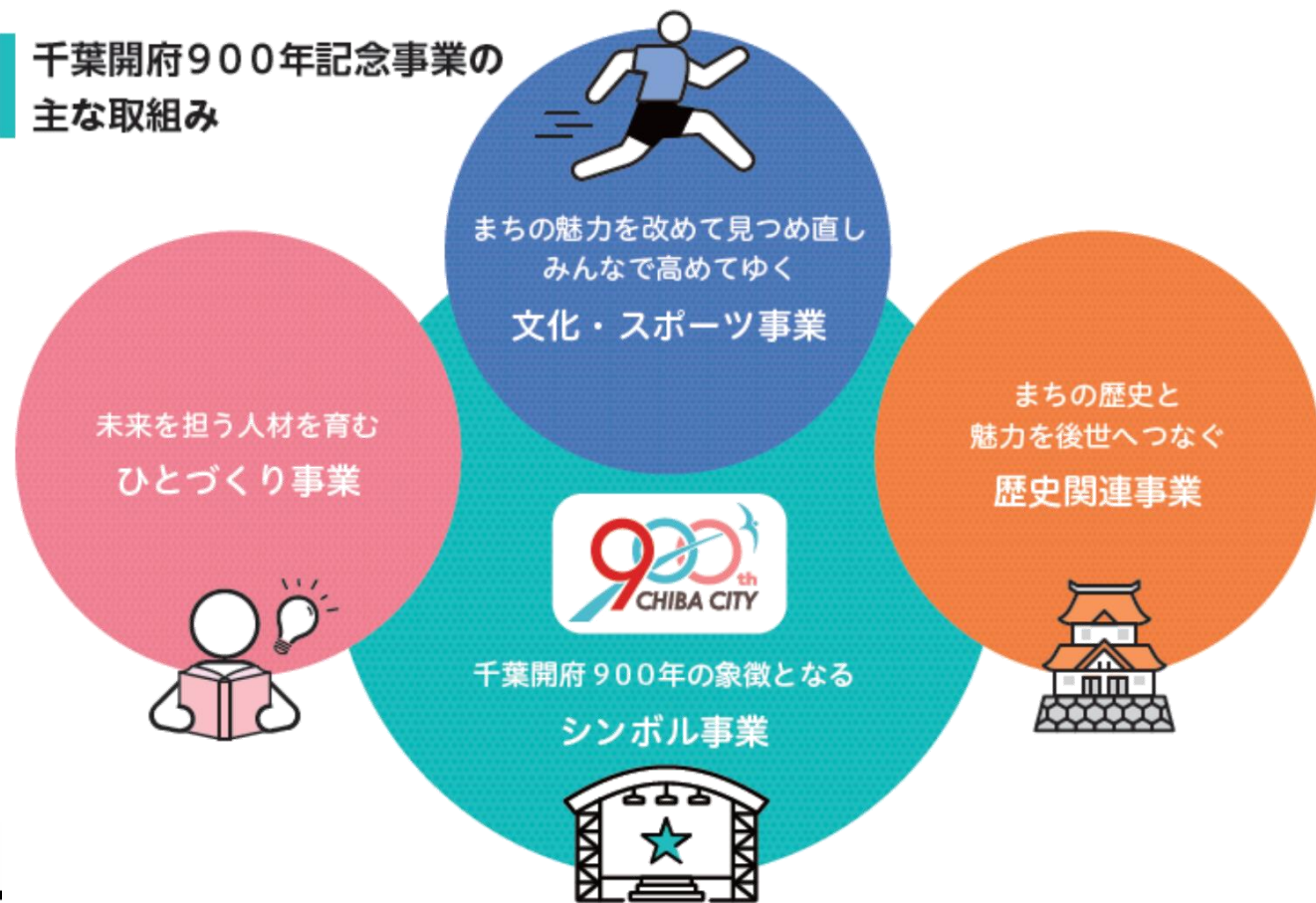


ロゴマーク

千の葉に 時を刻んで 900年

キャッチコピー

千葉開府900年記念事業の 主な取組み



持続可能で魅力あるまちづくりを進める

◆主な記念事業

シンボル事業

- ・ 記念式典 [亥鼻公園] 6月1日(月)
- ・ 記念まつり [千葉JPFドーム(千葉公園)] 6月6日(土)
- ・ 記念パレード [千葉駅前大通り] 11月21日(土)
- ・ 記念モニュメント設置 [千葉駅周辺] 令和9年3月

文化・スポーツ事業

- ・ 1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭 8月2日(日)
- ・ 千葉市美術館特別展 9月16日(水)～11月23日(祝)
- ・ 記念サイクリング 10月24日(土)
- ・ 記念ウォーキング 令和9年2月6日(土)



ひとづくり事業

- ・ 高校生アントレプレナーシップ教育プログラム
- ・ 起業家海外展開実践研修

歴史関連事業

- ・ 千葉市立郷土博物館リニューアルオープン
令和7年11月8日(日)
- ・ 千葉市立郷土博物館特別展
「千葉氏リターンズー千葉に集う一族の900年ー」
7月18日(土)～9月6日(日)
- ・ 「千葉氏がつくったまちの900年」[仮称]
10月10日(土)～12月6日(日)
- ・ 千葉氏サミット 8月15日(土)
- ・ 千葉氏子どもサミット 11月26日(木)


 千葉介
 (ちばのすけ)

物価高騰対策～市民生活支援～

◆ 下水道使用料等の特別減免

減免内容：基本使用料及び従量使用料
最大10立方メートル（6か月分）

減免期間：令和8年7月～12月検針分

◆ 市営水道料金の特別減免

減免内容：基本料金及び従量料金の各20%（6か月分）

減免期間：令和8年7月～12月検針分

※県営水道の料金は千葉県が減免を実施予定

◆ 消費活性化・生活支援キャンペーン

対象店舗：市内小売店、飲食店等 ポイント還元率最大5%

開始時期：令和8年8月以降（予定）

※予算上限に達し次第終了

※千葉県が同時期に最大10%のポイント還元キャンペーンを実施予定。合わせることで最大15%のポイント還元見込み

◆ 学校給食費等の食材料費の高騰への支援

食材料費が高騰する中、給食の質を維持するため、学校給食費、公立保育所・認定こども園給食費の引き上げの改定を実施

令和8年度については、国の財政支援を活用し、保護者負担を軽減あわせて、民間保育施設等に対し、食材料費高騰に係る経費を助成

区分	改定後 給食費 1食単価	保護者負担支援額		令和8年度 保護者負担 額 1食単価	
		給食費負担 軽減交付金	重点支援 交付金		
小学校	下学年 (1～3年生)	350円	301円	49円	0円
	上学年 (4～6年生)	374円	301円	73円	0円
中・中等教育学校 高等特別支援学校		415円	—	95円	320円
第二特別支援 学校	下学年 (1～3年生)	374円	359円	15円	0円
	上学年 (4～6年生)	387円	359円	28円	0円
特別支援学校		453円	—	104円	349円
公立保育所・公立 認定こども園	3歳以上児 (教育認定)	293円	—	50円	243円
	3歳以上児 (保育認定)	375円	—	67円	308円